



毎年、12/3～12/9は**障害者週間**です。

この障害者週間にちなんで、今号のFROM-ZERO通信は「福祉」を特集しました。

裏面にも記事がありますのでぜひご覧になってください。今回の特集にあたりましては、郡山市に本社を置き、主に福祉施設向けに福祉用具の普及や開発・販売、コンサルティング等を行っている**株式会社あかね福祉様**にご協力いただき、お話を伺いました。私たちが福祉や介護を知る・考える機会に、また、福祉に関する仕事に関心を持って頂ける機会になれば幸いです。

## 「福祉用具で日本の福祉に革命を起こしたい」

福祉施設と共に歩んできた20年間で蓄積されたオリジナルのノウハウを生かし、福祉用具で日本の福祉に革命を起こしたい、そんなあかね福祉様の熱い思いを伺いました。タイトルにある「福祉用具」について、皆さんはどんなものをイメージしますでしょうか？例えば、車いすや電動の介護用ベッド、歩行用のつえなどが分かりやすいものかも知れません。(1)高齢者や障害者の自立に役立つ用具 (2)介護する方の負担を軽減する用具が「福祉用具」です。福祉用具にはたくさんの種類があり、移乗・食事・入浴・排泄などの、用途や要介護の状態にあわせて用意されています。



世界を見ると福祉の先進国ノルウェーやスウェーデン、ドイツでは日本とは比べ物にならないほど福祉用具を使いこなしているそうです。それに対して日本はまだ福祉用具の適切で効果的な活用が浸透していない、と伺いました。導入だけでなく、正しい使い方で福祉用具を活用することで介護スタッフの負担がもっと軽減でき、介護される人の自立や苦痛の緩和にも貢献できる、とおっしゃっていました。

介護スタッフにとって大きな負担になっているのは「**移乗**」です。ベッドから車いすへの乗り移り、同じくポータブルトイレへ、食堂のイスへ、入浴用車いすへの乗り移り、そして今度はそれぞれからベッドへの乗り移り、これらを合計するとひとりあたり1日に約20回の移乗が行われるのだそうです。福祉施設ではスタッフ1人で要介護者3人の介護を行うため、移乗作業は1日60回。回数を見るだけでも背中や腰が痛くなりそうな大変な作業です。

この腰痛問題は**スタッフの離職**へと繋がり、介護の現場での人手不足は待ったなしの状況だそうです。そこで**福祉用具の出番**です。過去にも移乗の福祉用具が存在し、ロボットが開発されましたが、使い方が難しい、時間がかかるなどの理由で残念ながら介護の現場では普及には至りませんでした。今回の取材で従来の移乗用ロボットを体験させていただきましたが、率直な感想としてスタッフさんの作業数が多く時間もかかりますし、移乗完了時にスタッフさんが軽く息が切れるくらいの作業です。これまた1日に60回行うのは大変だな、と思いました。移乗される側も吊り下げられる圧迫感あり、という感覚です。そこで！！**【1人介助でかんたん・らくちん・1分移乗～移乗です～】**です。



移乗です

～福祉特集号は裏面に続きます～

FROM-ZERO 通信は弊社のお取引先の皆様へ毎月配布させていただいている情報誌です。





苦節 10 年を経て、あかね福祉様が開発した介護ロボットが「**移乗です**」です。完成したばかりの「移乗です」を今回試乗体験させていただくことができました。

気になる体験の感想は…ベッドから持ち上げられた感覚をほとんど感じないまま、移乗先の車いすに座っていた、というのが素直な感想です。持ちあがったとき、移動中、降りるときのいずれも乗りづらさ等の負担を全く感じませんでした。

スタッフさんも天板の中央に開いた窓から手を差し込むことができ、脚の下へのフレートへの差し込み・取り外しも無理な姿勢にならずにすみます。準備ができたら電動でリフトされるのももちろん持ち上げる動作はまったくありません。これなら介護現場で働くベテランさんにも重い負担にならず、移乗の介助ができそうです。移乗にかかる時間も約 1 分間！

そんな感想をあかね福祉様にお話すると、**日本にも世界にもこのような用具はありません！**と自信を持って答えてくださいました(\*アメリカやヨーロッパから福祉用具を輸入している商社情報)。そこからは 10 年の歳月の中で、数々の試作と実験を重ね、介護現場の声を聴いて改良を加え、今、最高の移乗用具が完成したのだと感じることができました。

私たち介護初心者から見ても「**移乗です**」は早い！らくちん！安全面も安心だなと感じます。ですから、実際の現場の動きも早いです、もうすでに熊本・宮崎・岐阜など全国から問い合わせが入っているそうです。「移乗です」の詳細が気になる方もいらっしやと思います。オススメはこちらです！とても親切に「移乗です」の使い方や特徴が解説されている**動画解説サイト**がありますのでぜひご覧になってください(下部の QR コードから)。

そして、手前みそになりますが、このカッパさんの防水シールは弊社でお手伝いさせていただきました。「へのかっぱ」で、「移乗です」が介護現場の力強いサポーターになると確信しております。株式会社あかね福祉様、取材のご協力ありがとうございました。



「移乗です」  
解説動画



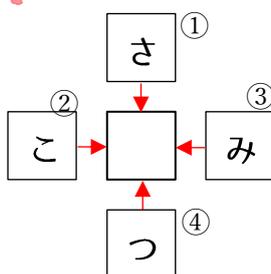
### 株式会社 あかね福祉 様 プロフィール



日本の福祉を変えたいという思いを出発点に平成 12 年に設立。福祉施設への福祉用具の普及、自社ブランド製品の拡販を行っています。福祉施設を主なターゲットに展開している全国でもめずらしい企業です。最近では福祉用具を体験できる全国初の研修施設「テクニカルエイドセンター」の開設、今までにない特異性を持った介護ロボット「移乗です」の販売を開始。ネットショッピングサイトも個人様向け、福祉施設様向けを展開中。20 年間のオリジナルのノウハウの蓄積を、商品開発や YouTube をはじめとしたわかりやすい動画作成・配信に生かしています。

●あかね福祉様 WEB サイト <https://www.akane-fukushi.co.jp/>

### 頭の体操！



介護施設等で使われている高齢者向けの頭の体操、クロスワードを紹介します。

真ん中の□にひらがな 1 文字を入れて、①～④の←方向から読んで意味の通じる言葉を、ヒントを元に完成させましょう！



ヒント

①紙のお金②これさえつかめれば③蜂が集めてくる④長くて円い形

出典:介護アンテナ <https://www.kaigo-antenna.jp>